

ニュートリション・アクト

抗酸化作用でアルコール対策

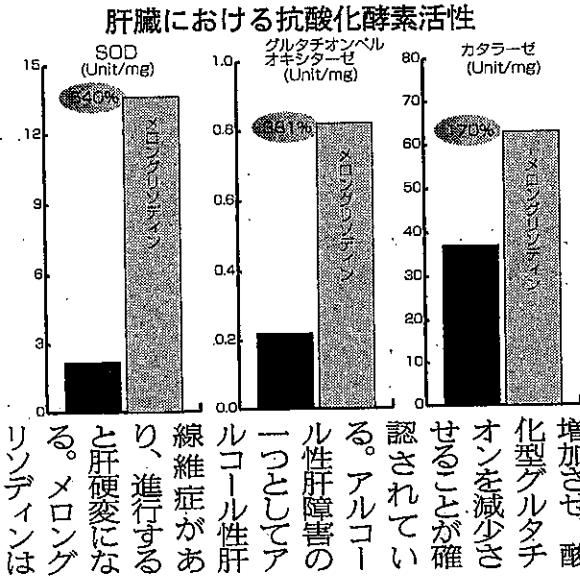
『メロングリソディン』多数の試験で効果確認

健康食品や化粧品素材販売およびOEM事業などを行うニュートリション・アクト(本社東京、石川雅仁社長、☎03-5475-7313)が総輸入販売元として販売するメロン由来抗酸化素材『メロングリソディン』は、アルコール対応食品としても高い機能を持つことが、さまざまな試験で確認されている。

メロングリソディンは腸管免疫の働きから、SOD、カタラーゼ(Cat)、グルタチオンペルオキシダーゼ(GPx)の3種類の生体内抗酸化酵素を誘導し、高い抗酸化効果を発揮することが、長期臨床試験や多数の動物試験で確認されている。

二日酔いや悪酔い、肝機能の低下は、アルコール代謝過程で発生する活性酸素と炎症が原因のひとつであり、同素材の抗酸化機能が諸症状の改善に役立つと期待される。同素材については、肝臓をはじめ、血液中、脳など全身における3つの抗酸化酵素すべてについて誘導作用が確認されている。とくに、肝臓組織中でアルコールをアセトアルデヒドに分解するCatの活性を70%高める作用が確認されていることからアルコールの代謝促進効果が期待できる。

また、アルコールの中間代謝物で二日酔いの原因ともなるアセトアルデヒドを体外に排泄するにあたっては、体内に還元型のグルタチオンが必要とされることが知られているが、14日間のヒト臨床試験で、同素材が血中の還元型グルタチオンを増加させ、酸化型グルタチオンを減少させることが確認されている。アルコール性肝臓障害の一つとしてアルコール性肝線維症があり、進行すると肝硬変になる。メロングリソディンは肝硬変モデルラットを用いた経口投与試験で強力な抗線維症作用を持つことを確認しており、肝機能の低下によるアルコール代謝機能の低下や肝臓の病変などを防止する機能が期待できる。



増加させ、酸化型グルタチオンを減少させることが確認されている。アルコール性肝臓障害の一つとしてアルコール性肝線維症があり、進行すると肝硬変になる。メロングリソディンは肝硬変モデルラットを用いた経口投与試験で強力な抗線維症作用を持つことを確認しており、肝機能の低下によるアルコール代謝機能の低下や肝臓の病変などを防止する機能が期待できる。